

.....「史料紹介コーナー」.....

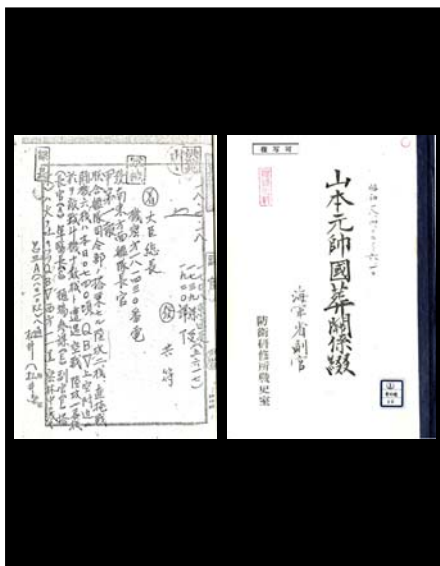
平成26年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

やまもと いそろく
 《 山本 五十六 1884~1943年 》
 一新潟県出身の海軍大将



連合艦隊命令作綴 (登録番号: ①命令-156)

山本五十六大将は、明治37年11月、海軍兵学校(32期)を卒業後、航空本部長、海軍次官、連合艦隊司令長官などの要職を歴任しました。この史料は「連合艦隊命令作綴」で、山本連合艦隊司令長官が決裁した「対米、英、蘭戦争ニ於ケル連合艦隊ノ作戦」に関する「機密連合艦隊命令作第一号」(昭和16年11月5日付)が綴られています。これによれば、開戦時期は「大命ニ依ル開戦日(X日)《数日前発令ヲ予期ス》ヲ以テ示ス」としていました。12月2日、「十二月八日午前零時以後(中略)武力ヲ発動スベシ」との「大海令第十二号」を受領した山本長官は、同日旗艦「長門」から全部隊に対し「新高山登レー二〇八」、すなわち「X日ヲ十二月八日」とする隠語電報を発信、12月8日の作戦開始を発令しました(「長門発信電文『新高山登れ1208』訳文」登録番号: ④電報-96-2)。



山本元帥国葬関係綴 (登録番号: ①その他-10)

昭和18年4月18日午後5時8分、東京海軍通信隊は緊急電「甲第一報」を受信しました。これは同日午前6時5分、ショートランド諸島方面視察のため、ラバウル飛行場を発進した山本長官一行の陸攻2機と直掩戦闘機6機が午前7時40分頃、ブイン(QVB)上空付近に於いて敵戦闘機十数機と遭遇、山本長官が搭乗の「一番機」は「火ヲ吐キツツQVB西方十一湊密林中ニ浅キ角度ニテ突入」、宇垣纏参謀長が搭乗の「二番機」は「『モイガ』ノ南方海上ニ不時着セリ」という機密電でした(本電関係は爾後「甲情報」と呼称)。これが「海軍甲事件」と称される山本長官機撃墜事件の第1報で、以後の海軍省の動きや事故関係電報並びに事故調査概報、山本長官戦死の大本営発表(5月21日)から国葬(6月5日)までの各種資料は、この「山本元帥国葬関係綴」に収録されています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
 防衛研究所企画部企画調整課
 専用線: 8-67-6522、6588 (史料紹介コーナーのみ6668)
 外線: 03-3713-5912
 FAX: 03-3713-6149 ※ 防衛研究所ウェブサイト: <http://www.nids.go.jp>